

2022年度

国際IT・CAD科

1年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K02			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Job hunting I 就職 I					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	三浦 千尋	
授業の目的						
就職活動を行い、内定を得るためには、就職試験対策に加え、採用システムの理解、業界研究が必須である。本科目では、世界でも独特な日本の採用システムを理解し、その準備を行う。製造業を中心に業界研究を行ったうえで、求人票の見方を学び、自ら志望する会社を選択できるようにする。また、履歴書の作成、面接練習も行う。						
授業の到達目標						
1. さまざまな媒体で就職情報を得ることができる。 2. 履歴書を作成することができる。 3. 面接マナーを理解し、実践できる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ	○	PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了時課題		10%	10%	5%	25%	
修了時実技		10%	10%	5%	25%	
随時課題		10%	10%	10%	30%	
授業態度				20%	20%	
使用テキスト・教材						
教員が適宜作成するプリント						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K05			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Business Writing 1 ビジネス文書作成 I					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	三浦 千尋	
授業の目的						
<p>専門学校での学習や就職後の業務において、わかりやすい文章を書く能力は必須である。学生は、話し言葉と書き言葉を区別し、自分が伝えたいことを相手に理解してもらえる表現を学び、文章にしていく能力を身につける。本科目では報告書と履歴書の作成を通し、自分の文章を客観的に読む目を養い、ブラッシュアップしていく。また、ビジネスメールのマナーについても、教員とのやりとりを通して、習得していく。</p>						
授業の到達目標						
<p>(1) 読み手を意識した、読みやすい字を書くことができる。 (2) フォーマットに従い、報告書を書くことができる。 (3) 自分の文章を読み直し、自分で修正することができる。 (4) ビジネスメールのマナーに従い、メールのやりとりができる。</p>						
授業方式						
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型		
授業形態						
講義	<input type="radio"/>	演習	<input type="radio"/>	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	<input type="radio"/>	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了課題		15%	15%	10%	40%	
修了試験		5%	5%		10%	
随時課題		10%	15%	15%	40%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
教員が用意するプリント						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. オリエンテーション	2		
2. 報告書の書き方			
2-1. 報告書の種類と目的	2		
2-2. 報告書のフォーマット	2		
2-3. 所感の書き方	4	○	
3. メモの書き方			
3-1. メモの意味	2		
3-2. 演習	2	○	
4. 履歴書			
4-1. 履歴書の目的	2		
4-2. 手書きの練習	4		
4-3. 自己PRと志望動機	6		
5. 報告書作成演習	4	○	○
その他		関連科目	
		ビジネス文書作成Ⅱ	

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K07			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Business Etiquette ビジネスマナー					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	寺尾 寿樹	
授業の目的						
<p>日本での就職活動に必要な基本的な考え方、心構え、礼儀作法等を身につけるために日本の文化・慣習について理解を深め、日本の社会で役立ち、喜ばれ、選ばれる人財になるために基礎・基本を学ぶ</p>						
授業の到達目標						
<p>(1) 日本の社会に必要な基本的なマナーを身につけ、立ち振る舞いができるようになる (2) その場の空気を感じ取り、周囲に対しての気配り・気遣いができるようになる (3) 就職活動に役立つノウハウの基礎・基本を理解し、実践できるようになる</p>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
修了時テスト(筆記)			30%			30%
随時テスト(筆記)			20%			20%
課題(実技)			30%			30%
受講態度(日常観察点)					5%	5%
出席状況					15%	15%
使用テキスト・教材						
<p>マイナビオフィシャル就活BOOK 要点マスター 就活マナー 株式会社マイナビ出版 演習課題(オリジナルワークシート)</p>						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 身だしなみ&持ち物	2		
2. 電話・メール・手紙	6	○	○
3. OB・OG 訪問	2		
4. エントリーシート&履歴書	6	○	○
5. 会社説明会	2		
6. 面接	8	○	○
7. 内定後	2		
8. 修了試験（筆記試験）・まとめ	2	○	○
その他		関連科目	
この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である。		<ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスマナーⅡ ・ ビジネスコミュニケーションⅡ 	

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度
					科目コード	R1-K08
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Business Mail ビジネスメール					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	神谷 由佳	
授業の目的						
就職後に必要となるビジネススキルである、ビジネスメールの作成を学習する。						
授業の到達目標						
ビジネスの場面に適したメールのやり取りをすることができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
課題		20%	20%	10%	50%	
授業態度				40%	40%	
出席率				10%	10%	
使用テキスト・教材						
ビジネスメールの書き方・送り方 しごとの日本語 メール書き方編						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K09			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Business communication 1 ビジネスコミュニケーション I					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	金田 雅美	
授業の目的						
<ul style="list-style-type: none"> ・予測不可能な異文化衝突に対処していこうとする態度を育てること。 ・学生が自分と他者との協働によって問題解決策を検討していくための社会(人間)環境を作り出す能力を育成する。 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・異文化衝突に出会ったときに、相手の価値観等に理解を示し衝突を回避する思考が身についている ・他者との協働作業ができる 						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL	○	反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
授業態度		10%	20%	20%	50%	
発表		10%	20%	10%	40%	
出席状況				10%	10%	
使用テキスト・教材						
ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K11			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Advanced Japanese 1 応用日本語 I					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	選択	60	2	神谷 由佳・青嶋 晶子	
授業の目的						
第二言語である日本語を用いて、専門学校で専門知識を学び、就職活動を行っていきけるように、日本語能力の向上を目指す。本科目では総合教科書を用い、読解力、語彙力、文法力をバランスよく身につけていく。また、教材を通し、一般的な日本文化についても習得していく。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力試験 N2 レベルの日本語力を身につける。 ・著名な日本人、その文化について基本的な知識を得る。 						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
随時テスト		20%			20%	
期末テスト		30%	10%		40%	
課題への取り組み				20%	20%	
授業態度				15%	15%	
出席率				5%	5%	
使用テキスト・教材						
『The Great Japanese 初中級』 『The Great Japanese 中上級』						
授業内容・授業計画						

内 容	時間	課題 試験	評価
1. 卑弥呼・宮崎康平	2		
2. 聖徳太子	2		
3. 紫式部／清少納言	2	○	△
4. 織田信長	2		
5. 本田宗一郎	2		
6. 和田カツ	2	○	△
7. 白石義明	2		
8. 孫正義	2		
9. 秋元康	2	○	△
10. 三遊亭圓朝	2		
11. 千利休	2		
12. 黒澤明	2	○	△
13. 草間彌生	2		
14. 五嶋みどり	2		
15. 夏目漱石	2	○	○
16. 村上春樹	2		
17. 俵万智	2		
18. 長谷川町子	2	○	△
19. 宮崎駿	2		
20. 石ノ森章太郎	2		
21. 高橋尚子	2	○	△
22. イチロー	2		
23. 野口健	2		
24. 杉原千畝	2	○	△
25. 佐藤栄作	2		
26. 萱野茂	2		
27. 新渡戸稲造	2	○	△
28. 藤田哲也	2		
29. 山中伸弥	2		
30. 石黒浩	2	○	○
その他	関連科目		
	応用日本語Ⅱ 日本語試験対策Ⅱ		

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	R1-K13	
Measures for Japanese Language Qualifications 1 日本語資格対策 I					国際 I T ・ C A D 科		
時間数は 4 5 分換算							
授業科目名					学科・コース		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	通年	選択	60	2	青嶋 晶子		
授業の目的							
日本語能力試験 (JLPT) は就職活動や就労ビザ申請において日本語能力を証明する重要な試験である。本科目では、日本語能力検定試験 N2 の合格を目指し、試験対策を行う。							
授業の到達目標							
1. 日本語能力試験 N2 の合格 2. 卒業時までの N1 合格に向けた中上級の知識の定着							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習		実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ		P B L		反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
確認テスト			30%			30%	
期末テスト			30%	10%		40%	
授業態度					20%	20%	
出席率					10%	10%	
使用テキスト・教材							
『日本語能力試験問題集 N2 語彙必修パターン』 『JLPT 文字語彙 N3 ポイント&プラクティス』							

シラバス (授業概要)				年度	2022 年度	
				科目コード	R1-K15	
時間数は45分換算						
授業科目名				学科・コース		
Japanese Culture 1 日本文化 I				国際IT・CAD科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	選択	30	1	青嶋 晶子	
授業の目的						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化からポップカルチャーまでの文化理解を深める ・日本の歴史・教育・政治などの基本的な知識を学び、日本語力の底上げを図る 						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化、ポップカルチャーについて日本語で話ができる ・どのような分野の話題にも関心を持つことができる 						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
確認テスト			40%	10%		50%
授業態度					15%	15%
出席率					5%	5%
発表				10%	20%	30%
使用テキスト・教材						
『クローズアップ日本事情 15』						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K21			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
IT Basic Skills 1 I T 基礎技術 I					国際 I T ・ C A D 科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	60	2	中村 住子	
授業の目的						
パソコンの基本操作を日本語で習得し、知識を深める。 日本情報処理検定協会「表計算」検定合格を目標として操作技術の向上をはかる。						
授業の到達目標						
Word/Excel/PowerPoint の基本操作を習得する。 日本情報処理検定協会 「表計算3級」以上合格を目標として操作技術の向上をはかる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
課題		10%	10%	10%	30%	
期末試験		50%			50%	
授業態度				15%	15%	
出席率				5%	5%	
使用テキスト・教材						
『留学生のためのかんたん Word/Excel/PowerPoint 入門』 技術評論社 『情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集』 日本情報処理検定協会						

シラバス (授業概要)		年度		2022 年度	
		科目コード		R1-K23	
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Presentation Skills 1 プレゼンテーション技法 I				国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	青嶋 晶子
授業の目的					
<p>・プレゼンテーションは、専門科目の授業や就職活動、仕事等、ありとあらゆる場所で必要となる能力である。本科目では、自分の考えをわかりやすく相手に伝えるためのプレゼンテーションスキルを習得する。プレゼンテーション制作の流れに沿って情報収集、資料作成を行い、日本語でのプレゼンテーションパフォーマンス力を向上させる。</p>					
授業の到達目標					
<p>・自分の意見、考えを相手に明確に説得力のあるプレゼンで伝えることができる。</p>					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○
ロールプレイ		PBL	○	反転授業	
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	
その他					
成績評価の方法					
評価項目		評価観点			配点計
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	
授業態度		10%	20%	20%	50%
発表		10%	10%	25%	45%
出席率				5%	5%
使用テキスト・教材					
『クローズアップ日本事情 15』					

シラバス (授業概要) 時間数は45分換算					年度	2022年度	
					科目コード	R1-K28	
授業科目名					学科・コース		
Human Resources 1 人的マネジメントと組織 I					国際IT・CAD科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	30	1	中村 真		
授業の目的							
人間の行動の仕組みを理解することで、社会人に求められる基礎的な力の習得を目指しながら、日常生活におけるセルフコントロールと、他人との関わり方を効果的なものにする方法を学び身に付けていく。							
授業の到達目標							
セルフコントロールを高める方法を知る。 依存ではなく自立した状態を作る。 否定的な見方から客観的・肯定的視点に移行できる。 協働の概念を理解し、プロジェクトチームの一員として行動できる。							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○		
ロールプレイ		PBL		反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業			
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
レポート			10%	20%		30%	
途中課題			10%	20%		30%	
ワークショップ実践			5%	15%	10%	30%	
受講態度					10%	10%	
使用テキスト・教材							
・プリント資料、演習課題（講師作成）							

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度
					科目コード	R1-K30
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Sales Management 1 営業マネジメント I					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	後期	必修	30	1	山田 穎二	
授業の目的						
<p>マネジメントとは「組織に成果をあげさせるもの」。組織（CAD）の使命を知り、組織の使命から顧客の求めている商品を作り、価格や販売方法など総合的に考え利益について考えます。「誰に・どのような価値を・どのようにして提供するか」を習得するために考察します。</p>						
授業の到達目標						
<p>(1) 正しい日本語で記述できる (2) マネージメントの基本を習得できる (3) 製造業にとってのマネージメントを習得できる (4) マネージメントにおける商品を知ることができる</p>						
授業方式						
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型		
授業形態						
講義	<input type="radio"/>	演習		実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	<input type="radio"/>	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
定期テスト（筆記）			40%			40%
随時テスト（筆記）			50%			50%
受講態度					10%	10%
使用テキスト・教材						
なし						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K32			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Algorithm アルゴリズム					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	選択	30	1	三浦 千尋	
授業の目的						
アルゴリズムは、プログラミングを行う上で基礎となる重要な考え方である。はじめてプログラミングを学習する学生にも取り組みやすいように、ビジュアル的にわかりやすいScratchを用いて、変数、配列、サーチ、ソート等、アルゴリズムの基本を学ぶ。また、フローチャートを読んでプログラムの流れを理解したり、フローチャートを作成したりできるようにする。						
授業の到達目標						
(1) アルゴリズムを理解するのに必要な用語を理解し、説明することができる。 (2) コンピュータに実行させる処理の流れを考え、フローチャートで表すことができる。 (3) フローチャートを読んで、プログラムを書くことができる。 (4) 自分が作ったプログラムについて、処理を説明することができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他	R科2年B、G科との合同作品発表					
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了試験 (筆記&実技)		20%	20%		40%	
随時テスト (筆記)		20%			20%	
随時課題		10%	10%	10%	30%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
教員が準備するプリント						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K33			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Machinaly Control Foundation 機械制御基礎					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	山田 友作	
授業の目的						
<p>アルゴリズムの授業で学んだフローチャートの技術を micro:bit によるプログラミングにより実現する。プログラミングの基本を学びながら、ものづくりに活かせるプログラム作成を学習する。創造性を発揮するプログラミングが体験できるSTEM教育を目指す。</p> <p>実習では、各種センサーを用いてプログラムによって動きをコントロールするものづくり演習を行ない、身の回りで日常化されている組込み型プログラムの理解を深めていく。</p>						
授業の到達目標						
<p>(1) プログラムを記述・実行するための手順を理解し、説明できる。</p> <p>(2) プログラムに必要な機能を理解し、説明できる。</p> <p>(3) しくみを考え、プログラムとして表現できる。</p> <p>(4) プログラム中の誤りを発見し、修正することができる。</p> <p>(5) 問題点を把握し、解決策をみつけて、問題を解決することができる。</p>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業	○	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了時テスト(筆記)						
課題		40%	40%	10%	90%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
・micro:bit ではじめるプログラミング (オライリー・ジャパン)						

授業内容・授業計画

内 容	時間	課題 試験	評価
1. micro:bitの基本	1		
2. micro:bitの機能			
2-1. ボタンスイッチ	1		
2-2. タッチセンサー	1		
2-3. 加速度センサー	1		
2-4. 地磁気センサー	1		
2-5. 無線通信機能	1		
2-6. 温度センサー	1		
2-7. 光センサー	1		
3. micro:bitで作品を作る	4		
4. micro:bitで通信する	4		
5. 制作課題	10	○	○
6. 作品発表	4	○	○
その他	関連科目		
この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である。	・ アルゴリズム		

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度
					科目コード	R1-K35
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Control Programming 1 制御プログラミング I					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	岡田 靖志	
授業の目的						
リレーシーケンスの基本回路を理解し、シーケンス制御の基礎を習得する。一人1台の実習ボードを使用し、配線して動作確認をする実習を行う。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・リレーの構造がわかる。 ・シーケンス制御の基本回路を理解し、シーケンス図が書ける。 ・基本的なシーケンス回路が設計出来、シーケンス図を見ながら配線できる。 						
授業方式						
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型		
授業形態						
講義	<input type="radio"/>	演習		実験・実習・実技	<input type="radio"/>	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	<input type="radio"/>	
その他						
成績評価の方法						
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
評価項目						
修了時テスト (筆記)		50%			50%	
実技テスト		40%			40%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
テキスト：リレーとシーケンサ 教材等：リレーシーケンス実習機材						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. シーケンス制御の基礎、リレーの原理と構造	2		
2. リレーシーケンス基礎回路演習			
2-1 論理回路と自己保持回路	4		
2-2 インターロック回路	4		
3. タイマ回路			
3-1 基本回路	2		
3-2 点滅回路	2		
3-3 信号機の制御回路	4	○	
4. エアーシリンダの制御回路			
4-1 シリンダ1本の制御	4		
4-2 シリンダ2本の制御	6		
5. 修了試験	2	○	
その他		関連科目	
※実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K37			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Basic Drafting 基礎製図					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	60	2	岩田 とも子	
授業の目的						
CAD技術者は図面を描き、読むことができる知識が必要不可欠である。 ここでは、JIS規格に従い、機械製図の基礎的な知識・方法、及び立体表現に必要な図学の基礎知識、製作図の作成についての知識を習得し、CAD技術者としての基礎を身につける。						
授業の到達目標						
(1) 製図のJIS規格を理解している。 (2) 立体を、投影法を用いて平面で表現できる。 (3) 平面図を、立体的にとらえることができる。 (4) 最適な寸法表記ができる。 (5) 機械要素について名称と特徴を理解することができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業	○	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了時テスト(筆記)		20%	20%		40%	
中間時テスト(筆記)		20%	10%		30%	
課題		10%	10%		20%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい機械図面の見方・描き方(オーム社) ・機械製図 練習ノート ・三角定規とコンパス ・CAD利用技術者試験2次元公式ガイドブック 						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K38			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Manufacturing Technology 製造技術					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	1	岡田 靖志	
授業の目的						
モノづくりに必要な測定器、工具、加工機械の種類や使用方法を、実習を行いながら習得する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・ノギス、マイクロメータの使い方がわかる。 ・各種工具の用途を理解し、適切に選択し使用することが出来る。 ・ボール盤、ノコギリ盤等の基本的な加工機械の安全な使い方を習得する。 						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了時テスト (筆記)		50%			50%	
随時テスト (筆記)		40%			40%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
テキスト： 教材等：						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K39			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Machinaly Computer Aided Desing Foundation CAD基礎					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	90	3	岩田 とも子	
授業の目的						
<p>昨今、ものづくりにおいて、CADは欠かせないツールとなっている。 この授業では、世界標準となっているCADソフト Autodesk 社のAutoCAD (2次元) を使用して、CADによる図面作成ができることを目指す。</p>						
授業の到達目標						
<p>(1) 2次元CAD (AutoCAD) の基本的な操作を習得する。 (2) 図面作成に必要な三面図の考え方を理解し、投影図が実際に描けるようにする。 (3) 基本的な機械製図の読み方を習得する。</p>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業	○	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了時テスト (課題)		50%			50%	
課題		40%			40%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> 『これからはじめる AutoCAD の本』 (技術評論社) 演習課題 (オリジナルプリント) 						

授業内容・授業計画

内 容	時間	課題 試験	評価
1. AutoCAD のインストール	2		
2. 画面操作・基本操作	2		
3. コマンド操作			
線分コマンド（絶対、相対、極座標）	2		
オブジェクトスナップ	4		
確認プリント	4		
円コマンド、移動・複写コマンド	2		
確認プリント	4	○	
長方形、ポリゴン、分解コマンド	2		
ディバイダ、オフセットコマンド	4		
確認プリント	4		
トリム、延長コマンド	2		
回転、鏡像、長さ変更コマンド	4		
確認プリント	6	○	○
配列複写（矩形、円形）コマンド	2		
尺度変更、ストレッチコマンド	4		
確認プリント	4		
グリップを使ったコマンド	2		
画層について	2	○	
各種設定（寸法、文字）	4		
三面図作図を CAD で作図する	6		
寸法、文字の記入方法	4		
4. 機械図面作図	20	◎	◎
その他		関連科目	
この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎製図 ・ 機械CAD_応用 ・ 機械制御_応用 	

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K41			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Information Literacy 情報リテラシー					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	高橋 恵子	
授業の目的						
Windowsの基本的な機能を理解し、設定やカスタマイズができるようになること、ハード、ソフト両面でのトラブルに対応できるようになることを目的とする。						
授業の到達目標						
パソコン、インターネット利用の「操作や知識」を得ると同時にトラブルや事件を知り、復旧できるようになること、身を守る手段を知ること为目标とする。 基本的な法律の知識も触れ、「上手な活用」と「生きる力」を養うことも目標とする。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習		実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業	○	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了試験		30%			30%	
随時試験		20%			20%	
受講態度				20%	20%	
レポート/課題		30%			30%	
使用テキスト・教材						
Windows10 may 2019 update 対応 (FOM 出版)						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R1-K43			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Qualification Test Measures 1 資格検定対策 I					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	通年	必修	30	1	山田 友作	
授業の目的						
CADを利用するための知識を持ち、さらに図面を正しく理解してCADを利用した作図を効率的にこなすことができる技能を証明できる試験制度として、2次元CAD利用技術者試験がある。このファーストステップとして「基礎」ランクがある。就職で有利にたつ資格を得るために、合格をめざす。						
授業の到達目標						
(1) CADシステムの知識と機能を理解している。 (2) CADシステムのプラットフォームについて理解している。 (3) 製図の知識を理解している。 (4) 図形の特徴を理解している。 (5) 2次元CAD利用技術者試験基礎に合格することができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
検定試験 (IBT)		10%	5%	5%	20%	
課題 (Forms)		40%	25%	5%	70%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい機械図面の見方・描き方 (オーム社) ・機械製図 練習ノート ・三角定規とコンパス ・CAD利用技術者試験2次元公式ガイドブック 						

授業内容・授業計画

内 容	時間	課題 試験	評価
1. CADシステムの知識と機能			
1-1. CADシステムの概要と機能	1		
1-2. CADシステムの基本機能	2		
1-3. CADの作図データ	1		
1章の確認テストとフィードバック	2	○	
2. CADシステムのプラットフォーム			
2-1. CADシステムとハードウェア	1		
2-2. CADシステムとソフトウェア	1		
2-3. ネットワークの知識	1		
2-4. 情報セキュリティと知的財産	1		
2-5. コンピュータの操作	1		
2章の確認テストとフィードバック	2	○	
3. 製図の知識			
3-1. 製図一般	1		
3-2. 製図の原理と表現方法	2		
3章の確認テストとフィードバック	2	○	
4. 図形			
4-1. 三角形	1		
4-2. 四角形と多角形	2		
4-3. 円	1		
4-4. 三平方の定理	2		
4-5. 三角関数	1		
4-6. 立体図形	1		
4章の確認テストとフィードバック	2	○	
5. 模擬試験と検定試験	2	○	○
その他	関連科目		
この科目は、実務経験のある教員が担当する科目である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械CAD基礎 ・ 機械CAD応用 ・ ものづくり演習 ・ 機械制御応用 		

2022年度

国際IT・CAD科

2年生

授業計画（シラバス）

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度		
					科目コード	R2-K03		
時間数は45分換算								
授業科目名					学科・コース			
Job hunting 2 就職Ⅱ					国際IT・CAD科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	後期	必修	20	1	三浦 千尋			
授業の目的								
本格化する就職活動の中で内定を得るために、エントリーシート、履歴書、面接、とそれぞれのフェーズを突破していく能力を身に着ける。								
授業の到達目標								
1. 面接において、質問の意図をくみ、答えることができる。 2. 企業情報を正確につかみ、履歴書、面接に反映することができる。								
授業方式								
対面	○	ライブ型		オンデマンド型				
授業形態								
講義	○	演習		実験・実習・実技	○			
アクティブ・ラーニング								
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション				
ロールプレイ	○	PBL		反転授業				
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○			
その他								
成績評価の方法								
評価項目		評価観点			知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
修了時実技					10%	20%	10%	40%
随時実技					10%	20%	10%	40%
授業態度							20%	20%
使用テキスト・教材								
なし								

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	R2-K04	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Work Preparation 就労準備					国際IT・CAD科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	20	1	山田 友作		
授業の目的							
就職活動の結果として内定を得たら、留学生は在留資格変更許可申請を行ない、在留資格を「留学」からいわゆる「就労」のビザに変更する必要がある。本科目では、出入国在留管理局に申請する在留資格変更許可申請の書類準備を行なう。							
授業の到達目標							
1. 申請書のフォームに必要な事項を入力することができる。 2. 就労する会社に対して志望理由書を作成することができる。 3. 履歴書を作成することができる。							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション			
ロールプレイ		PBL		反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業			
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
この科目は認定科目のため成績評価はありません							
使用テキスト・教材							
在留資格変更許可申請書（出入国在留管理局の定型フォーム） 志望理由書の書き方（独自プリント） 履歴書用紙							

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度		
		科目コード	R2-K06		
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Business Writing 2 ビジネス文書作成Ⅱ				国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	三浦 千尋
授業の目的					
<p>ビジネスシーンにおいて、文章を読んだり作成したりする場面が非常に多い。本科目では、業務を円滑に遂行していくためのビジネス文書作成技術を学ぶ。就職後すぐに作成する機会が訪れる報告書の作成を軸に、各種ビジネス文書の内容、提出のタイミング、事実と意見の表現方法の違いを学び、相手に伝わる、わかりやすい文書を作成する知識と技術を習得する。さらに、業務で使用する専門用語を正しく理解し、文書に取り入れることができるようにする。</p>					
授業の到達目標					
<p>(1) 各種ビジネス文書の目的と内容が理解できる。 (2) 各種フォーマットに合わせて、文書を作成することができる。 (3) 適切な表現を使い、相手にとってわかりやすい文書を作成することができる。 (4) 専門用語を正しく理解し、使用することができる。</p>					
授業方式					
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	
授業形態					
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○
その他					
成績評価の方法					
評価観点		知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
評価項目					
修了課題		15%	15%	10%	40%
修了試験		5%	5%		10%
随時課題		10%	15%	15%	40%
受講態度				10%	10%
使用テキスト・教材					
教員が用意するプリント					

シラバス (授業概要)					年度	2022年度	
					科目コード	R2-K10	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Business Communication 2 ビジネスコミュニケーションⅡ					国際IT・CAD科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	60	2	寺尾 寿樹		
授業の目的							
<p>日本での就職活動において、内定獲得のために必要な考え方、心構え、礼儀作法等を身につけ日本の社会で選ばれ、役立ち、喜ばれ、活躍できる人財になるための基礎・基本を学ぶ。</p>							
授業の到達目標							
<p>(1) 就職活動に必要なマナーを身につけ、きちんとした挨拶ができる。 (2) 就職活動で実施される面接試験において、自分の働く意欲・熱意を伝えることができる。 (3) 複数の企業からオファーをいただくことができるようになる。</p>							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○		
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○		
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習	○	教えあい授業	○		
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
修了時テスト(筆記)			30%			30%	
随時テスト(筆記)			20%			20%	
課題(実技含む)			30%			30%	
受講態度(日常観察点)					5%	5%	
出席状況					15%	15%	
使用テキスト・教材							
<p>マイナビ オフィシャル就活BOOK 要点マスター 就活マナー 株式会社マイナビ出版 演習課題(オリジナルワークシート)</p>							

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R2-K12			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Advanced Japanese 2 応用日本語Ⅱ					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	選択	30	1	三浦 千尋、松岡 みどり	
授業の目的						
第二言語である日本語を用いて、日本社会で働き、生活していくための日本語力を身に着ける。本科目では、上級レベルの教材を使用し、ビジネスレベルの語彙力、文法力、読解力をバランスよく習得していく。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力試験 N1 レベルの日本語力を身につける。 ・上級レベルの日本語を理解し、運用することができる。 						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
随時テスト		20%			20%	
期末テスト		30%	10%		40%	
課題への取り組み				20%	20%	
授業態度				15%	15%	
出席率				5%	5%	
使用テキスト・教材						
『テーマ別 上級で学ぶ日本語』						
『テーマ別 中級から学ぶ日本語』						

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度		
					科目コード	R2-K14		
時間数は45分換算								
授業科目名					学科・コース			
Measures for Japanese Language Qualifications 2 日本語資格対策Ⅱ					国際観光・ビジネス科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	通年	選択	60	2	三浦 千尋			
授業の目的								
日本語能力試験 (JLPT) は就職活動や就労ビザ申請において日本語能力を証明する重要な試験である。本科目では、日本語能力検定試験 N1 の合格を目指し、試験対策を行う。								
授業の到達目標								
・ 日本語能力試験 N1 の合格								
授業方式								
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型				
授業形態								
講義	○	演習		実験・実習・実技				
アクティブ・ラーニング								
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション				
ロールプレイ		PBL		反転授業				
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○			
その他								
成績評価の方法								
評価項目		評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
確認テスト					30%	%	%	30%
期末テスト					30%	10%	%	40%
授業態度					%	%	20%	20%
出席率					%	%	10%	10%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
					%	%	%	%
使用テキスト・教材								
『日本語能力試験問題集 N1 語彙必修パターン』								

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. オリエンテーション	2		
2. クラス分けテスト	4		
3. テストフィードバック	2		
4. 基礎知識	12	○	
5. 練習問題	20	○	
6. 実習演習	12	○	○
7. 模擬試験	8		
その他		関連科目	
浜松未来総合専門学校オリジナルの統一試験の結果により、クラス分けを行う。		応用日本語Ⅱ 日本語資格対策Ⅰ	

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R2-K16			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Japanese Culture 2 日本文化Ⅱ					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	60	2	三浦 千尋	
授業の目的						
<p>より日本文化に親しみ、理解するための上級レベルの日本語を学ぶ。 本科目では、応用日本語Ⅱの授業で使用するテキスト『上級で学ぶ日本語』のワークブックを用い、習得した語彙、文法を駆使し、さらに一歩進んだ音声や読み物に触れる。また、内容理解に必要な日本の文化風習、日本人の考え方も併せて習得していく。</p>						
授業の到達目標						
<p>1. 日本文化風習、日本人の考え方についての知識が得る。 2. 難解な日本語に接した場合、自ら調べ、意味を理解することができる。</p>						
授業方式						
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型		
授業形態						
講義	<input type="radio"/>	演習		実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク		プレゼンテーション	<input type="radio"/>	
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業	<input type="radio"/>	調査学習		教えあい授業	<input type="radio"/>	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了試験		15%	15%		30%	
随時試験		15%	15%		30%	
随時課題		10%	10%	10%	30%	
授業態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
『上級で学ぶ日本語 ワークブック』 『中級から学ぶ日本語 ワークブック』						

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
0. オリエンテーション	2		
第1課 しる	2		
第2課 いたわる	4		
第3課 ならう	4		
第4課 よみとる	4		
第5課 さばく	4	○	
第6課 うやまう	4		
第7課 ふせぐ	4		
第8課 もてなす	4		
第9課 よびかける	4		
第10課 えらぶ	4	○	
第11課 いかす	4		
第12課 つなぐ	4		
第13課 たのしむ	4		
第14課 きたえる	4		
第15課 いきる	4	○	○
その他	関連科目		
	応用日本語Ⅱ		

シラバス (授業概要)					年度	2022年度
					科目コード	R2-K22
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
IT Basic Skills 2 I T 基礎技術 II					国際 I T ・ C A D 科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	中村 住子	
授業の目的						
Excel 関数操作方法を習得し、会計用語等の日本語の知識を深める。 日本情報処理検定協会「表計算」検定合格を目標として操作技術の向上をはかる。						
授業の到達目標						
日本情報処理検定協会 「表計算3級」以上合格を目標として操作技術の向上をはかる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		P B L		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
課題		10%	10%	10%	30%	
期末試験		50%			50%	
授業態度				15%	15%	
出席率				5%	5%	
使用テキスト・教材						
『情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集』 日本情報処理検定協会						

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	R2-K24	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Presentation 2 プレゼンテーション技法Ⅱ					国際IT・CAD科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	1	中村 真		
授業の目的							
日常業務において必要な「伝える力」を実践的に習得する。							
授業の到達目標							
効果的なスライド作りができるようになる。 自分という人物について伝え、五感を通して相手に訴えかける方法を身につける。 与えられたテーマで決められた時間スピーチできる力を身につける。							
授業方式							
対面	○	ライブ型		オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○		
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○		
ロールプレイ		PBL		反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業			
その他							
成績評価の方法							
評価項目		評価観点	知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計	
レポート			10%	20%		30%	
途中課題			10%	20%		30%	
ワークショップ実践			5%	15%	10%	30%	
受講態度					10%	10%	
使用テキスト・教材							
プリント資料、演習課題（講師作成）							

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
オリエンテーション：プレゼン定義と講座目的	2		
第一印象を作るポイント 3V の法則・立ち居振る舞い・発声・表情の練習	2	○	
プレゼンの型：SDS 法と PREP 法	2	○	
フィードバックのポイント	2	○	
プレゼン準備の仕方・つかみと締め・コアメッセージ・スルーライン	2	○	
「伝える」と「伝わる」の違い（スタンドアプトーク）	2	○	
スライド作成のポイント	2	○	
あがりの構造と対策・集中力の高め方	2	○	
逆三角法とエレベータートークの練習	2	○	
TED トークに見るプレゼンの作り方	2	○	
時間感覚を身につける 3 分プレゼン	2	○	△
テーマで話す 10 分プレゼン	4	○	△
自分を売り込むテーマプレゼン	4	○	○
その他	関連科目		

シラバス (授業概要)	年度		2022 年度			
	科目コード		R2-K25			
時間数は45分換算						
授業科目名				学科・コース		
Introduction to Business Administration 経営学概論				国際IT・CAD科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必須	30	1	小野 哲	
授業の目的						
<p>製品を設計・生産する上で必要となる関連知識を総合的に学習する。 特に、近年後工程を意識した製品設計、コストを意識した設計業務が求められており、益々幅広い知識が求められている。 製造業全般に関わる「言葉」を理解し、世界で通用する業務知識を習得する</p>						
授業の到達目標						
<p>製造業に関わる日本語を理解できるようにする 製造業に携わる者として工場の骨格（注文・人・金・モノ・設備・情報）を理解し、工場の運用業務、管理業務を知ることによって社会人としての知識を身に着ける また、最新技術についての事例紹介／解説を行ない、世の中の方向性を理解する</p>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業		
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
修了時テスト（筆記）			30%	10%		40%
随時テスト（筆記）			20%			20%
課題				10%	10%	20%
受講態度				10%	10%	20%
使用テキスト・教材						
工場のしくみ 自作講義資料		日本実業出版社				

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. 刈エンテーション（生産・製造概論でどんな勉強をするか） 工場とは何か（製造業分類、工場内の仕事）	2		
2. 企業の求める人材（社内教育、心構え） モノの作り方	2	○	
3. 工場全体のしくみ 安全と5S・3S	2	○	
4. 企業のバリューチェーン（仕事の繋がりを知る） 各部門の仕事	2		
5. 各部門の仕事 さまざまな生産の仕組み	2	○	
6. 開発・設計のしくみ 生産管理のしくみ	2		
7. 生産管理のしくみ	2	○	
8. 生産管理のしくみ	2		
9. 生産管理のしくみ	2	○	
10. 生産現場のいま 原価管理のしくみ	2		
11. 原価管理のしくみ	2	○	
12. 品質管理 テスト問題解説	2		
13. 品質管理 自動化とIT	2	○	
14. テスト	2	◎	○
15. 自動化とIT 全体まとめ	2		
その他	関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			

シラバス (授業概要)		年度		2022 年度	
		科目コード		R2-K26	
時間数は45分換算					
授業科目名				学科・コース	
Marketing マーケティング				国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	山田 穎二
授業の目的					
<p>マーケティングは、企業及び他の組織がグローバルな視野に立ち、顧客との相互理解を得ながら、消費者の求めている商品を作り、価格や販売方法などを決める総合的な考えを指します。 「誰に、どのような価値を、どのようにして提供するか」を習得するために考察します。</p>					
授業の到達目標					
<p>(1) 正しい日本語で記述できる (2) マーケティングの基本を習得できる (3) 製造業にとってのマーケティングを習得できる (4) マーケティングにおける商品を知ることができる</p>					
授業方式					
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型	
授業形態					
講義	<input type="radio"/>	演習		実験・実習・実技	
アクティブ・ラーニング					
グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク		プレゼンテーション	
ロールプレイ		PBL		反転授業	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	<input type="radio"/>
その他					
成績評価の方法					
評価項目		評価観点			配点計
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	
定期テスト (筆記)		60%			60%
随時テスト (筆記)		30%			30%
受講態度				10%	10%
使用テキスト・教材					
なし					

シラバス (授業概要)		時間数は45分換算			年度	2022年度		
					科目コード	R2-K27		
授業科目名					学科・コース			
Financial Management 財務管理					国際IT・CAD科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	後期	必須	30	1	朝倉 将貴			
授業の目的								
日本の企業に就職する際にライフプランニング、タックスプランニング等の基礎知識を理解していることが求められる。まずは、自分の将来設計について考え、税金、社会保険料、控除等について理解することが目的である								
授業の到達目標								
給料明細を参考に、税金、社会保険、各種控除等の意味を理解する。								
授業方式								
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型	○			
授業形態								
講義	○	演習		実験・実習・実技				
アクティブ・ラーニング								
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション				
ロールプレイ	○	PBL	○	反転授業				
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業				
その他								
成績評価の方法								
評価項目		評価観点			知識 技能	思考 判断 表現	関心 意欲 態度	配点計
修了試験					15%	15%		30%
随時試験					15%	15%		30%
随時課題					10%	10%	10%	30%
授業態度							10%	10%
使用テキスト・教材								
随時、プリント配布。								

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. ライフプランニング	6		
2. 給与明細の見方	4		
3. 社会保険と税金の仕組みについて	6		
4. 各所得の基本	6		
5. 所得控除	6		
6. まとめ	2	○	○
その他	関連科目		
※金融業に勤務経験のある教員が担当する			

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度	
					科目コード	R2-K29	
時間数は45分換算							
授業科目名					学科・コース		
Human Resources 2 人的マネジメントと組織Ⅱ					国際IT・CAD科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	中村 真		
授業の目的							
人間の行動の仕組みを理解することで、社会人に求められる基礎的な力の習得を目指しながら、日常生活におけるセルフコントロールと、他人との関わり方を効果的なものにする方法を学ぶ。またマネージャーとして交渉力や調整力を発揮するための基礎を身に付けていく。							
授業の到達目標							
(1) 企業の仕組みを理解し、出された指示に対して肯定的に捉える力を持つ。 (2) 依存ではなく自立した状態を作れる。 (3) 否定的な見方から客観的・肯定的視点に移行できる。 (4) 協働の概念を理解し、プロジェクトチームの一員として行動できる。							
授業方式							
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型			
授業形態							
講義	○	演習	○	実験・実習・実技			
アクティブ・ラーニング							
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○		
ロールプレイ		PBL		反転授業			
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業			
その他							
成績評価の方法							
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計		
評価項目							
レポート		10%	20%		30%		
途中課題		10%	20%		30%		
ワークショップ実践		5%	15%	10%	30%		
受講態度				10%	10%		
使用テキスト・教材							
プリント資料、演習課題（講師作成）							

シラバス (授業概要)					年度	2022年度
					科目コード	R2-K31
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Sales Management 2 営業マネジメントⅡ					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	山田 穎二	
授業の目的						
<p>マネジメントとは「組織に成果をあげさせるもの」。組織（CAD）の使命を知り、組織の使命から顧客の求めている商品を作り、価格や販売方法など総合的に考え利益について考えます。 「誰に・どのような価値を・どのようにして提供するか」を習得するために考察します。</p>						
授業の到達目標						
<p>(1) 正しい日本語で記述できる (2) マネジメントの基本を習得できる (3) 製造業にとってのマネジメントを習得できる (4) マネジメントにおける商品を知ることができる</p>						
授業方式						
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型		
授業形態						
講義	<input type="radio"/>	演習		実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	<input type="radio"/>	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	<input type="radio"/>	
その他						
成績評価の方法						
評価観点		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計	
評価項目						
定期テスト（筆記）		40%			40%	
随時テスト（筆記）		50%			50%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
なし						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R2-K34			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Machinaly Control Practical Use 機械制御応用					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	山田 友作・岡田 靖志	
授業の目的						
<p>前半では、機械制御_基礎で学んだ基本機能を組み合わせて発展させたSTEM教育を目指す。実習では、各種センサーを組み合わせたり、複数のシステムと連動させたりする仕組みを考え、それを実現させるものづくり実習を行ない、組込み型プログラムの理解を深めていく。</p> <p>後半では、制御用コンピュータ「シーケンサ」のプログラムと制御方法の基本技術を習得する。</p>						
授業の到達目標						
<p>I (1)状況にあったセンサーを選択することができる。 (2)複数のセンサーやモーターを連動させることができる。 (3)相手のしくみと連携できる方法を考え、調整することができる。</p> <p>II (1)パソコンを使用して、ラダー図やプログラムの作成ができる。 (2)作成したプログラムをシーケンサに転送できる。</p>						
授業方式						
対面	○	ライブ型		オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○	
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション	○	
ロールプレイ		PBL		反転授業	○	
対話・議論型授業	○	調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了時テスト(筆記)		50%			50%	
課題		20%	20%		40%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
<p>I. テキスト: micro:bit ではじめるプログラミング (オライリー・ジャパン)</p> <p>II. テキスト: リレーとシーケンサ 教材等: プログラム開発用パソコン、開発シミュレータ、シーケンサ実習機材</p>						

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度
					科目コード	R2-K36
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Control Programming 2 制御プログラミングⅡ					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	30	1	岡田 靖志	
授業の目的						
1年次に学習したリレーシーケンスを基に、制御用コンピュータ「シーケンサ」のプログラムと制御方法の基礎技術を学習する。						
授業の到達目標						
<ul style="list-style-type: none"> ・シーケンサ用のラダー図を読み書きできる。 ・シーケンサの基礎命令語を理解し、ラダー図をプログラムに変換できる。 また、プログラムからラダー図が書ける。 ・課題演習のラダー図が書ける。 						
授業方式						
対面	<input type="radio"/>	ライブ型	<input type="radio"/>	オンデマンド型		
授業形態						
講義	<input type="radio"/>	演習	<input type="radio"/>	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業		
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	<input type="radio"/>	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
修了時テスト (筆記)		50%			50%	
随時テスト (筆記)		40%			40%	
受講態度				10%	10%	
使用テキスト・教材						
テキスト：リレーとシーケンサ 教材等：プログラム開発用パソコン、開発シミュレータ、シーケンサ実習機材						

シラバス (授業概要)		年度	2022 年度			
		科目コード	R2-K40			
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Machinaly Computer Aided Desing_Foundation CAD応用					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	90	3	岩田 とも子	
授業の目的						
<p>昨今、ものづくりにおいて、CADは欠かせないツールとなっている。 この授業では、世界標準となっているCADソフト Autodesk 社のAutoCAD (2次元) を使用して、CADによる図面作成の習得を目指す。</p>						
授業の到達目標						
<p>(1) 設計図が読めること。 (2) 設計図を見て、自立して正確に作業ができること。</p>						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL		反転授業	○	
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点	知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
修了時テスト (課題)			50%			50%
課題提出 (作品)			40%			40%
受講態度					10%	10%
使用テキスト・教材						
・ 演習課題 (オリジナルプリント)						

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度		
					科目コード	R2-K42		
時間数は45分換算								
授業科目名					学科・コース			
Manufacturing Exercise ものづくり演習					国際IT・CAD科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	通年	必修	150	5	岡田 靖志			
授業の目的								
NC工作機械を動かすためのプログラム作成法について学習する。フライス系(マシニングセンタ)工作機械を制御するGコード、M機能等についてシミュレーションと試作を行いながら習得していく。また、1年時より学習した内容をもとに、CADによる設計から工作機械を使った試作までを行う。								
授業の到達目標								
<ul style="list-style-type: none"> 加工図面からNCプログラムを作成し、シミュレーションを行いながら動作の確認を行う。 オリジナルのネームプレートの加工図面をCADで作成し、プログラムの作成をする。 シミュレーション完了後、実際に加工を行う。 基本的な加工組立が出来る。 								
授業方式								
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型				
授業形態								
講義	○	演習	○	実験・実習・実技	○			
アクティブ・ラーニング								
グループワーク		フィールドワーク		プレゼンテーション				
ロールプレイ		PBL		反転授業				
対話・議論型授業		調査学習		教えあい授業	○			
その他								
成績評価の方法								
評価項目		評価観点			知識技能	思考判断表現	関心意欲態度	配点計
修了時テスト(筆記)					50%			50%
課題提出(作品)					40%			40%
受講態度							10%	10%
使用テキスト・教材								
テキスト：入門NCプログラミング 教材等：プログラム開発用パソコン、開発ソフト、NC加工機								

授業内容・授業計画			
内 容	時間	課題 試験	評価
1. NC工作機械と座標系	3		
2. 位置決めG00と直線切削G01	3		
2-1 プログラム演習1	2		
2-2 プログラム演習2	2		
3. 円弧切削G02、G03	4		
3-1 プログラム演習3	2		
3-2 プログラム演習4	2		
3-3 プログラム演習5	2		
3-4 プログラム演習6	2		
4. 工具径補正G40、G41、G42	4		
4-1 プログラム演習7	2		
4-2 プログラム演習8	2		
4-3 プログラム演習9	2		
4-4 プログラム演習10	2		
4-5 プログラム演習11	2		
4-6 プログラム演習12	2		
5. 中間試験	2	○	△
6. ネームプレートの作成		○	△
6-1 CADによる図面設計	8		
6-2 プログラム作成	6		
6-3 シミュレーション	2		
6-4 NC機械加工	4		
7. ものづくり演習			
7-1 CADによる設計、部品図の作成	30		
7-2 工作機械による加工	40		
7-3 組立て及び修正	10		
7-4 動作確認	10	○	△
その他	関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎製図 ・製造技術 ・CAD基礎 ・CAD応用 		

シラバス (授業概要)					年度	2022 年度
					科目コード	R2-K44
時間数は45分換算						
授業科目名					学科・コース	
Qualification test measures 2 資格検定対策Ⅱ					国際IT・CAD科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通期	必修	90	3	山田 友作	
授業の目的						
CADを利用するための知識を持ち、さらに図面を正しく理解してCADを利用した作図を効率的にこなすことができる技能を証明できる試験制度として、2次元CAD利用技術者試験がある。このファーストステップとして「基礎」ランクがある。就職で有利にたつ資格を得るために、合格をめざす。						
授業の到達目標						
(1) CADシステムの知識と機能を理解している。 (2) CADシステムのプラットフォームについて理解している。 (3) 製図の知識を理解している。 (4) 図形の特徴を理解している。 (5) 2次元CAD利用技術者試験基礎に合格することができる。						
授業方式						
対面	○	ライブ型	○	オンデマンド型		
授業形態						
講義	○	演習	○	実験・実習・実技		
アクティブ・ラーニング						
グループワーク	○	フィールドワーク		プレゼンテーション		
ロールプレイ		PBL	○	反転授業	○	
対話・議論型授業		調査学習	○	教えあい授業	○	
その他						
成績評価の方法						
評価項目		評価観点			配点計	
		知識技能	思考判断表現	関心意欲態度		
検定試験 (IBT) または修了時テスト (筆記)		40%	30%		70%	
随時テストおよび課題 (Forms)		10%		5%	15%	
受講態度				10%	10%	
出席状況				5%	5%	
使用テキスト・教材						
<ul style="list-style-type: none"> ・CAD利用技術者試験2次元公式ガイドブック ・やさしい機械図面の見方・描き方 (オーム社) ・三角定規とコンパス 						

